

心をねらう共謀罪 ターゲットはあなた!



作：大福きなこさん (日本共産党岡山県委員会のホームページより)

緊迫

「共謀罪」は廃案に

法案はボロボロ

「共謀罪」法案強行の動きが強まっていますが、法案の中身も答弁もすでにボロボロです。3度廃案になった「共謀罪」は今度も廃案に。

「内心処罰」は明白



「花見か下見か」でたらめ答弁

何を考えたかで処罰される「共謀罪」。政府は「『準備行為』があつて初めて処罰」といいます。しかし「普通の花見と犯罪の下見の違いは」の質問に「ビールと弁当持ちが花見、地図と双眼鏡なら下見」とでたらめ答弁。「内心処罰」は明白。

「テロ対策」はウソ



原案に「テロ」はなし

国際組織犯罪防止条約（TOC条約）批准のためと言いますが、条約をつくったとき日本政府は「テロ対策にすべきでない」と言っていました。自民・公明の原案には「テロ」の文言は1カ所もありませんでした。

一般人が対象に



どんな人かは警察まかせ

岐阜県大垣市では、警察が普通に暮らす市民を監視。和歌山市では「選挙に行こう」と路上アピールしていたグループを警察が撮影。しかし警察は「適正だった」と居直り。どんな人が一般人かは警察が決めます。



近畿民報

2017年5月 No.3 (第281号) 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
発行/日本共産党国会議員団 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 ※日本共産党は以上の見解を
近畿ブロック事務所 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp 発表しました。